

1 身近な地域で行う自然体験活動・森林環境教育の指導事例

校地内や身近な地域でも、自然に親しみ、自然に対する理解を深める教育を進めることができます。身近に行うことができる自然体験活動・森林環境教育を考えていきましょう。



《指導事例1》校庭の樹木や花を利用した学習

- 校庭の樹木や花の名前や特徴、季節ごとの成長を調べ、自然に親しませる。(理科)
 - ・「自分の木(花)」を決めて名前や特徴を調べさせ、樹木や花には種類ごとに違いがあることをとらえさせる。
 - ・樹木や花などの季節による変化を知ることを通して、生物を愛護する態度を育む。
- 「自分の木(花)」のネームプレートづくりなどを通して、樹木や花への愛着を深めさせる。(図画工作科)
 - ・「自分の木(花)」のネームプレートを自然の材料等を生かしてつくったり、樹木や花などから感じ取ったことをもとに絵に表したりする活動を通して木や花に対する愛着を深める。

《指導事例2》ゲストティーチャーや出前授業の活用

- 専門的な知識をもつ人の話を聞く活動などを通して、地域への愛着を感じさせる。(総合的な学習の時間)
 - ・地域の野鳥研究家を招いて話を聞き、身近な野鳥の生態について課題をもち、探究活動に取り組む。
 - ・野外活動施設からゲストティーチャー(森林インストラクターなど)を招き、身近に見られる自然に関わる話を聞いたり、一緒に校区内を探索したりすることを通して、自然環境と自分との関わりについて考えさせる。
 - ・調べたことや聞いたこと、見たことなどを地域の自然マップとしてまとめ、自然や地域に対する愛着を深めさせる。

《指導事例3》里山を利用した学習

- 身近にある自然環境のよさを味わわせる(生活科)
 - ・学校周辺の森や林へ出かけ、自然のものを使って遊びを工夫させる。
 - ・友達と楽しく遊び、自然と触れ合うことを通して、自分や友達のよさ、自然のすばらしさや生命の存在に気付かせる。
 - ・「つくってみたい生き物」をテーマにした作品づくりを行うために、落ち葉や木の実を集めさせる。
- 自然の材料を使った造形活動を通して、自然に対する関心を深めさせる。(図画工作科)
 - ・身近な森や林で集めた自然の材料に触れて、形の感じや質感をとらえたり、材料をよく見て色の変化に気付いたりする活動を通して、材料の特徴を生かした造形活動に取り組みさせる。
 - ・表現や鑑賞の活動を通して、自然に対する興味・関心を深めさせ、自然や自分たちの作品のよさや美しさを感じ取らせる。



ワンポイントアドバイス

☞「森林とわたしたちの生活」(県農林部発行)が活用できます。

活用できる学習の例

- ・「林業がさかんな地域と人々の暮らし」(4年社会科)
- ・「わたしたちの生活と森林」(5年社会科)
- ・「生物と環境」(6年理科)

※ 樹木観察の際には、巻末の「樹木カード」を活用しましょう。

《問合せ先》奈良県農林部森林整備課 TEL 0742-27-7612

☞ 森林林業体験学習人材バンクが活用できます。

- ・林業体験や木工クラフトに必要な作業道具や資材の貸出しを行います。
- ・樹木医や森林インストラクターなどの資格をもった講師を派遣したり紹介したりします。

《問合せ先》奈良県森林技術センター TEL 0744-52-2380



2 野外活動施設を利用して行う自然体験活動・森林環境教育の指導事例

「奈良の自然体験活動マップ」(奈良県教育委員会事務局学校教育課)に掲載している施設をはじめ、県内には、自然体験活動・森林環境教育を行うことができる施設がたくさんあります。施設を有効活用して、自然体験活動・森林環境教育に取り組みましょう。

《一泊二日で行う指導事例》

【活動の流れと内容】

1日目

- 10:00 入所式
- 10:10 オリエンテーション
- 10:30 テントイン
- 11:00 自然観察
 - ・「自然観察マップ」を利用し、センター内を散策することで、自然への興味をもたせる。
- 12:30 昼食
- 13:10 グリーンオリエンテーリング
 - ・地図に示されたポイントを探し、そこにある樹木の名前を答えることにより、楽しみながら樹木などへの関心を高め、自然に親しませる。
- 15:00 たたき染め
 - ・植物の葉をたたき、色や形を写し取ることにより、葉の色や形の美しさに気付かせるとともに創作の喜びを味わわせる。
- 17:00 夕食/入浴
- 18:30 キャンプファイヤー及び星空観察
 - ・春の暗闇の中で、火を囲みながら仲間と共に楽しい時間を過ごす体験を通して、人や自然と関わることのよさに気付かせるとともに、自然に対する真摯な気持ちを育む。
 - ・日常生活では見られない満天の星空を観察することを通して、自然の雄大さや自然と人間との共生の在り方についての気付きを促すとともに、自然環境を大切にしようとする態度を育む。
- 22:00 就寝



2日目

- 6:00 起床
- 6:30 朝の集い
- 7:00 清掃
- 7:45 朝食
- 8:45 間伐の見学(森のお話)
 - ・指導者の話から、木を間伐することの意義や間伐材の有効利用を考えさせる。
- 9:30 ヒノキの皮むき及び丸太切り体験
 - ・木に触れたり、においをかいだり、年輪を数えたりするなど、自分の感覚や活動を通して木に対する親しみを感じさせる。
- 12:30 昼食
- 13:30 周辺散策
 - ・自然の中を散策したり、活動を振り返ったりすることを通して、自然に対する愛着を深め、自然を大切にしようとする態度を育てる。
- 14:30 退所式



《各教科等との関連》

4年理科「季節と生物」
学校では見られない樹木を見付けさせ、自然に対する興味や関心を高める。

各学年図画工作科「自然物からの造形」
自然の材料の形や色の特徴をとらえ、それを生かして表現できるようにする。

心のノート 小学校5・6年「友だちっていいよね」
「心のノート」をもとに、活動を振り返ることを通して、友達への理解を一層深めさせる。

4年理科「月と星」
夜空に輝く無数の星を観察し、天体に対する興味・関心を高める。

6年理科「月と太陽」
月を実際に観察することを通して、月の形の見え方や表面の様子について理解させる。

4年社会科「林業のさかんな地域」
教科書等で学習した、林業に携わる人々の工夫について、自然体験や見学を通して実感的にとらえさせ、理解を深めさせる。

5年社会科「森林資源の働き」
間伐等の見学を通して、森林保全について実感的にとらえさせるとともに、自分たちの生活と森林との関わりについて考えさせ、森林の重要性について理解を深めさせる。

6年理科「生物と環境」
森林で体験したことを想起させることで、生物と環境との関わりについての理解を深め、環境を保全しようとする態度を育てる。

心のノート 小学校5・6年「生きているんだね自然とともに」
「心のノート」をもとに、活動で感じた森林の素晴らしさを振り返ることを通して、自然を大切にしようとする態度を育てる。

(参考:奈良県立野外活動センター「利用ガイド」)

《「利用ガイド」に関する問合せ先》 奈良県立野外活動センター TEL 0743-82-0508